

# 父親が、地域 みんなが

# 子どもたちを見守る

子どもたちの健やかな成長は、みんなの願いです。普段、仕事などで子どもたちと接する時間が少なくなりがちな父親たちが、父親の会を結成して会員同士や親子の交流を深める活動などを行っています。またこうした父親の会やPTA、学校、地域の皆さんが協力して子どもたちの成長を見守ろうと、さまざまな取り組みを始めています。

## 共栄小学校・ふれあいフェスタ

七月三日「共栄小学校・ふれあいフェスタ」が馬場公園で開催されました。共栄小学校PTA父親の会が、発足して十年目を迎えたことを記念して、同公園で例年行っている会員同士の「親子バーベキュー大会」の規模を拡大し、通学区内にある五つの町内会と協力して行ったイベントです。太鼓演奏や、共栄小学校・厚別南中学校のスクールバンド演奏くじ引き、ゲーム、飲食コーナーなどがあり、たくさん子どもたちと地域の人たちでにぎわいました。

## 父親の会

PTA活動の中で父親に何ができるだろうかと考えたとき、父親同士

のつながりが弱いのでまず交流を深めることから始めようと、平成六年に、共栄小学校PTA父親の会は発足しました。現在の会員は二十八人。「親子バーベキュー大会」「サイクリング」「冬の滝野一泊旅行」といった親子で楽しむ行事や、学校周辺の清掃「クリーン大作戦」などを行っています。

また、野球チームをつくり、九月には信濃小学校や厚別北小学校など、区内六校の父親の会チームでトーナメント戦を開催します。野球を通して、区内の小学校の父親の会をつなぐ交流の輪が広がっています。

同会代表の成田光應さんは「このあたりは、転勤する方が多く、二、三年で会員がよく入れ替わります。本州から転勤してきた方には、この会に入って学校の情報交換ができました。冬には歩くスキーが楽しめたりと好評です。また、少子化が進んだ



スクールバンドの演奏にたくさんの人たちが耳を傾けていました  
(ふれあいフェスタ)

